

令和7年度 第5回 藤沢市立明治中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年2月27日（金）午後1時45分から
場 所 明治中学校 3階図書室

出席委員	<p>香取 純子（明治地区青少年育成協力会）</p> <p>町田 眞己枝（明治地区民生委員）</p> <p>小林 美幸（明治地区民生委員児童委員 主任児童委員）</p> <p>神崎 敦子（PTA役員経験者）</p> <p>瀧谷 典子（藤沢市立八松小学校 校長）</p> <p>吉田 勝利（同窓会代表）</p> <p>福家 大輔（明中応援隊 保護者代表）</p> <p>梅千野 友崇（明中おやじの会 会長）</p> <p>若林 理恵（明治地区コミュニティソーシャルワーカー）</p> <p>高橋 孝一郎（明治市民センター住民サービス担当主幹）</p> <p>大石 由佳（藤沢市立明治中学校 校長）</p> <p>猿渡 千恵子（藤沢市立明治中学校 教頭）</p> <p>出席委員：12名（欠席委員：1名 石澤委員）</p> <p>傍聴人数：0名</p>
次第	<p>1. 開 会（13:45）</p> <p style="padding-left: 20px;">・議長（小林委員）あいさつ、校長あいさつ</p> <p>2. 議 題</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）令和7年度 学校評価について</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）授業参観</p> <p>3. その他</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）令和8年度 特別支援学級介助員について</p> <p style="padding-left: 40px;">外壁工事について</p> <p>4. 閉 会（15:15）</p>
協議内容	<p>2. 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）学校評価について</p> <p style="padding-left: 40px;">（教頭先生より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の「学校へ行くのが楽しい」は、保護者も生徒も9割の評価がとれている ・⑩、⑪、⑫の項目でも、生徒3学年ともに9割を超えているが、その中でもそうでないC・Dに○をしている少数の生徒をA・B側にするには、まだまだ努力が必要。 ・部活・行事についての評価も、保護者も生徒も3学年通して「活発である」「充実している」が9割を超えているので、このまま積極的に生徒が参加できると良い。 ・授業については、意欲的に、積極的に参加するために、よりタブレットを活用して意欲的になるような授業を作っていく、仕掛けていくよう勧めていきたい。 ・校舎の修繕については、市の予算の関係もありなかなか難しいが、今年はメダカルームにエアコンやアコーディオンカーテンを設置するなど、環境を整備できた。 <p style="padding-left: 40px;">（校長先生より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に数字は上がっている。大きく上がっている中で特に、⑦「タブレットの活用が

出来ている」だが、実際に授業で効果的に活用できているかどうかを今後も学校側で検証・授業研究しながら進めていく。

- ・⑩「先生は生徒や保護者の悩みの相談にのってくれる」は去年からさらに割合が上がっている。保護者からの声にもあるように、先生方への感謝の思いやご意見が多くみられた。日頃から先生方はご家庭や生徒のことを考えて動いているので、それが伝わっていて良かった。
- ・⑬「フォロー学習、補充学習・学習支援は役に立っている」は、10ポイント以上上がっているが、これまでとやり方を変えたわけではなく、同様にアピールをしてきた。なぜかは、検証していきたい。
- ・⑳「学校にいるとき、地震や火災などの非常事態～」も約10ポイント上がっている。要因としては、災害が多くなっている中で、生徒の意識も上がっているのでは。

(町田委員)

⑳の非常事態時の対応の仕方について、なにか特別に生徒への授業があったのだろうか？

(大石校長)

これまでも避難訓練時に話をしてきた。市からの防災冊子を活用したりして説明をしている。

(町田委員)

災害は、学校にいるとき以外でもありえるので、登下校時や自宅、町にいるときなどの対応を細かく指導をしていただきたい。

(猿渡教頭)

今年は初めて、管理職と担当教員だけが知っている中で、避難訓練をした。これは今後の課題も見えて良かった。

(町田委員)

3月8日に羽鳥小学校にて地域の防災訓練がある。新聞紙を丸めてお米の炊き出しや、煙の体験がある。

(福家委員)

⑳について。藤沢の子どもたちとつながる会で、去年の8月に防災に関する講演会があった。そこで、子どもたちは防災教育を学校で受けているので、防災意識が高く、どうしたらいいのかを分かっているが、一方で保護者がそれに追いついていないのではないかと、逆に子どもたちが、保護者に対して学校で何かあったらこういう事をするなど、子どもたちが地域に対して教える場があっても良いのではないかと思う。

(2)授業参観を終えて、感想と合わせて学校評価アンケートについて

(小林委員)

皆、落ち着いて授業を受けていた。アンケート結果では、HPの浸透が難しい。学校便りをはじめ、学校からの情報を100%保護者に受け取ってもらうのはなかなか難しいことかな、と思う。

(香取委員)

わが子のクラスは、元気なクラスでした。アンケート結果については、先生と生徒の信頼関係が高いのがうかがえる。保護者としても、安心してお任せしているのも、良い結果だったのではないかと。HPを見る機会が少ないが、メールや手紙、HP、何を見ても同じ情報が入るのは、情報を逃しにくいという面で良いと思う。部活動の充実の数字が高かったが、先生の負担はどうなのか気になる。

(町田委員)

習字の展示があったが、字が上手い。アンケート結果では、④「あいさつをしている」の数字が保護者と生徒でだいぶ割合が違ったのが気になる。

(神崎委員)

グループ発表のテーマや表現が、今どきの生徒目線にあったワードを使って授業をしているのが分かった。習字も、クラス皆で同じものを書くのではなく、いろいろな文字をそれぞれが選んで作品になっているのが興味深い。

(瀧谷委員)

アンケート結果では、①の「学校へ行くのが楽しい」の割合が高く、学校で部活や魅力的な活動が出来ているということが分かる。また、日頃から明中応援隊として保護者のサポートが手厚く、学校としては心強いのでは。来年度から少し形が変わっていくが今後どうなって

いくのか注視していきたい。②については、5人に一人が不安に思っている、と回答しているのが気になる。

(吉田委員)

生徒も保護者も、思っていた以上に肯定的な回答が多い。学校の運営としては、安定して行われているのが分かる。学習面での項目で数字が大きく上がったのは、先生方の努力、ご尽力の賜物ではないかと思う。また、数字だけでは分からない、ネガティブの面をこれから紐解いていくのが大事ではないか。

(福家委員)

娘から見えてくる学校の様子とアンケート結果が一致していて興味深かった。今年度から始まったすぐーるについては、保護者からはとても有難くて、今まで気づかなかったことでも連絡をもらうことで子どもとも話をする事ができる。

(梅干野委員)

アンケートの保護者の回答が200件とあるが、出してない保護者も多いということ。

→(大石校長)それが大きな問題。全体の三分の一しか回答していないので、信憑性があるかという問題も。紙で提出をお願いしていた時のほうが回収率は高かった。どこの学校でも今は回収率をあげるのは難しくなっている。

→(福家委員)PTAの総会の回答も同じくらいの数になっている。

(若林委員)

自分の子どもころも、学校からの便りはなかなか届かなかったので、すぐーるはうらやましい。一年生は、春からずいぶん成長して落ち着いた感じがした。平和学習の発表を見たが、学習面だけではなく、社会に出た時に大切なことも学べているのではないかと思う。

(高橋委員)

MAーテストに関しての効果が保護者のAが増えてる一方で、生徒の割合が下がっているのので、そこの数字が上がってくると良いのでは。世の中の的には、単元ごとの学習が主流になって来てるようなので、先取りしているのでは。

(大石校長)

部活動についてですが、今年の年度途中でガイドラインが変わり、朝練が9月からなくなった。平日の活動時間も、これまで片づけを含めず2時間だったのが、片づけを含めて2時間に変更。休日は3時間となった。また、国から以前より言われている地域移行は進んでいない。その内容も、平日は教師が見て、休日は外部に委託するというもの。現実的にだいた無理がある。

HPについては、今後形が変わるため保護者ページが無くなる。

3. その他議題

(1)令和8年度 特別支援学級介助員について

(猿渡教頭)

今春から特別支援学級が開校するにあたり、介助員を募集している。生徒は5人で教師は2名。以前のパソコンルームを改修し支援学級に、PTAで使用していた柏を教員用として使用する。週一でも大丈夫なので、介助員をできそうな人がいたら声掛けを。

(小林委員)

学校側からコミスクへの要望はありますか？他校では、コミスクのメンバーの声掛けで職業体験先や、楽器の運搬のサポートなどを行っているところもある。

(大石校長)

先生方にはコミスクで話題に取り上げたいことがあれば、と話は投げている。また、職業体験先については、探してくれる業者があり現時点では解決出来ている。